

## 2022年度 自己評価・学校関係者評価報告書

学校法人臼井学園ひなぎく幼稚園

## 1. 本園の教育目標

神を敬い、人を愛するキリスト教の精神に基づく教育を行う。

各々の幼児の可能性を引き出し、人格の基礎を確立することを保育の目標とする。

## 2. 本年度重点的に取り組む目標

- ・キリスト教の教えを園児に伝え、思いやりの心を育てる
- ・預かり保育の受け入れ枠を広げ、保護者の要望に応える
- ・地域の育児家庭を応援する
- ・SDGsに配慮した園運営

## 3. 評価項目の達成及び取り組みの状況

	評価項目	評価	取り組みの状況
1	キリスト教の教えを園児に伝え、思いやりの心を育てる	B+	顧問による毎月の聖句解説講話を継続した。「キリスト教保育」誌等を読み合い意見交換をすることを通して、キリスト教保育の在り方や幼児観を共有している。園内における助手職員も加えた事例検討会、園外での研修で研鑽を積み、保育に還元してきた。
2	預かり保育の受け入れ枠を広げ、保護者の要望に応える	B+	45人定員の運営。担当者の工夫によって保育内容が充実。長時間の保育であるが子どもたちは楽しそうに落ち着いて過ごしている。近隣のスポーツクラブと提携し課外教室スイミングを新設した。
3	地域の育児家庭を応援する	A	園庭開放の回数を増やし、大型絵本や父母会クラブの人形劇、音楽会などのお楽しみプログラムを加える。近隣の小規模保育所とも交流。11月からはひつじ組と称し、集団生活にスムーズに入れるように段階を踏んだ母子分離プログラムをスタート。同時にプチてんしと称し2才児以下の親子に呼び掛けた集まりもスタートした
4	SDGsに配慮した園運営	B+	空調機 省エネ化 全照明 LED化 プラスチック製品は極力避けた物品、教材購入を行った。

## 4. 総合的な評価結果

評価	理由
B+	月に一度の礼拝とキリスト教保育誌を用いた月例教師会を継続できた。また、キリスト教の行事を取り上げお祝いすることができた。預かり保育で長時間の生活もこれまでの実績に創意工夫を加え、幼児にとっての落ち着いた安らぎの生活の場となってきた。未就園児の会もこれまでの実践をもとに、バラエティに富んだメニューを用意し、地域のニーズに応えつつある。 一方、SDGsに関してはコロナ感染対策のペーパータオル導入・おやつのお包装などゴミを増やす結果となった。基本的な分別も含めゴミ問題は今後も取り組んでいきたい。

※評価 (A...十分に成果があった B...成果があった C...少し成果があった D...成果がなかった)

## 5. 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	異文化交流の機会を広げる	外国籍の園児が母国の言葉や歌、遊びを紹介する機会を設ける。 クリスマス献金の機会を用い、ケニア・コイノニアアカデミーと交流する。 国旗など世界の国への関心を広げ、平和教育へ繋げる。
2	美術・工芸・木工教育を盛んにする	染め物、織物、裂き織、大工等の活動を継続し、様々な素材に触れられるようにする。
3	表現活動・音楽教育を盛んにする	創立70周年の記念に親子音楽会を開催する。 音遊び・楽器活動を盛んにする。 自園の劇遊びの取り組みを外部で発表する。
4	SDGs に配慮した運営をする	物品購入の際には耐久性の高いものを選ぶ。 ゴミの分別を徹底する。
5	地域の育児支援に貢献する	新たに子育て広場デイジーを開設する。
6	預かり保育	預かり保育の内容をより充実し、様々な保護者のニーズに応える。

## 6. 学校関係者評価委員会の評価

- ・コロナ禍での関係者の努力を評価し健康を祈る。
- ・コロナ禍で行事を少人数又はクラスごとに行うなど工夫して継続してきたことを評価する。
- ・クリスマス礼拝に出席した折には、園児の明るい嬉しそうな表情が見られ大変喜ばしく思った。
- ・コロナ禍の経験は保育や業務を見直すチャンスと捉え、メリット・デメリットの両面を助手の職員とも共有して意見交換し、次に繋げていく努力をしていることを評価する。
- ・共働き家庭が増えている中、預かり保育の拡充と充実は大変良い。
- ・保育目標に掲げられているキリスト教保育を通して「思いやりの心を育てる」はこれからの世界を担う子どもの根幹となるものであり、その目標に向かっている保育を高く評価する。
- ・未就園児の会（てんし組）の後期を母子分離クラスとし、徐々に時間を延ばし、一人一人を大切に丁寧な対応をしていることを評価する。入園後の集団適応にどのような効果があったかの検証を求む。
- ・地域の小規模保育園との交流は在園児にとっても、2才児（乳児）と交流できると良い機会であると評価する。
- ・省エネタイプの空調機とLEDへの交換の効果の検証を望む。

以上

※評価（A...十分に成果があった B...成果があった C...少し成果があった D...成果がなかった）